

Vol.18

The 39th
Business Report
the Second Quarter

第39期 第2四半期株主通信

2011年4月1日から2011年9月30日まで

株主の皆さまへ	①
Fade in ダイコク電機最前線	③
●「DK-SIS白書2010」発刊 ●名証IRエキスポ2011	
新製品情報	④
セグメント別の状況	⑤
連結財務諸表	⑦
会社概要	⑨
株式情報	⑩

株主の皆さまへ

当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業生産は持ち直しているものの東日本大震災の影響により雇用情勢や個人消費は依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、震災後の電力供給不足対応として輪番休業を実施した地域もあり、パチンコホールにおいて集客や稼働の減少などが心配されましたが、5月以降に大きな影響はなく、店休時に小規模な設備投資を行う動きも見られる一方で、パチンコ遊技機から好調なパチスロ遊技機への入替が引き続き行われました。また、警察庁生活安全局保安課が発出した「広告・宣伝規制の運用方針の見直し」が8月から施行され、イベント実施や情報公開については慎重な動きとなりました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチスロ演出に有効な情報公開機器「B i GMO」を中心に、呼び出しランプ「IL-AW」、システムの中核となるホールコンピュータシステム「C II」の提案を推進しました。制御システム事業におきましては、開発業務の効率向上と品質厳守を追求し、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高281億円(前年同期比70.2%増)、営業利益21億18百万円(同245.7%増)、経常利益20億67百万円(同203.1%増)、四半期純利益10億76百万円(同346.6%増)となりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億24百万円増加の510億39百万円となりました。その主な要因は、前連結会計年度において販売予定の製品等が当第2四半期連結累計期間において実現したことにより、たな卸資産は



代表取締役社長
栢森 雅勝

減少しましたが、前第4四半期連結会計期間に比べ当第2四半期連結会計期間の売上が好調に推移したことにより現金及び預金と売上債権が増加したことで、新社屋の建設により有形固定資産が増加したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ13億79百万円増加の243億74百万円となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間の売上が好調に推移したことに伴う仕入債務と未払法人税等が増加したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払いがありましたが、四半期純利益の計上があったことにより利益剰余金は増加し、前連結会計年度末に比べ6億44百万円増加の266億65百万円となりました。自己資本比率は52.1%(前連結会計年度末比0.9ポイント下落)となりました。

通期の見通し

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。
平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

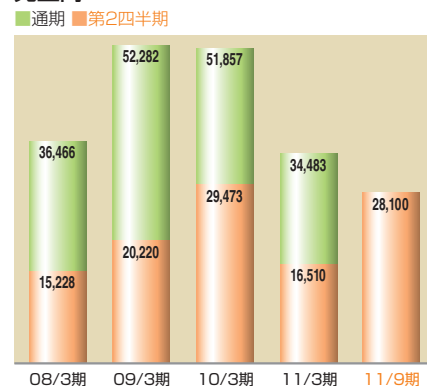
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	38,000	△1,500	△1,500	△1,500	△101.46円
今回修正予想(B)	43,000	700	800	100	6.76円
増減額(B-A)	5,000	2,200	2,300	1,600	
増減率(%)	13.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績(平成23年3月期)	34,483	226	356	△342	△23.14円

通期の見通しに関する注意事項

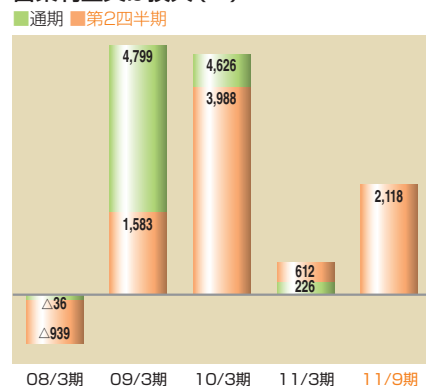
本冊子に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。したがって、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

主要財務データ (単位: 百万円) Key Financial Data

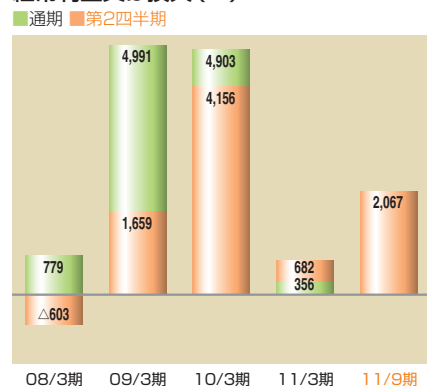
売上高



営業利益又は損失(△)



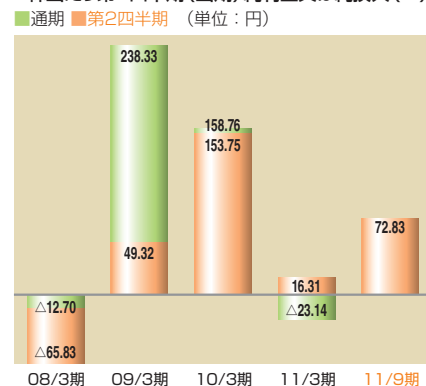
経常利益又は損失(△)



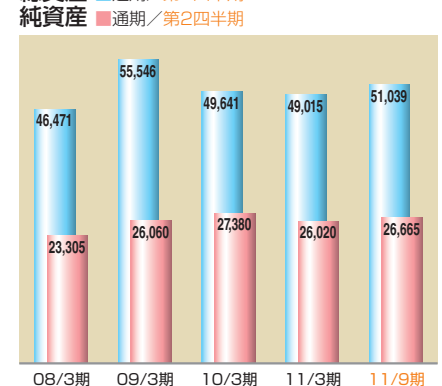
第2四半期(当期)純利益又は純損失(△)



1株当たり第2四半期(当期)純利益又は純損失(△)



総資産 純資産



Fade in ●ダイコク電機最前線

「DK-SIS白書2010」発刊



このたびは「DK-SIS白書2010」を発刊いたしました。本書は創刊の「DK-SIS白書2003」から数えて8刊目であり、創刊時の約3倍にあたる遊技台100万台分もの膨大なホール営業データを日々集計・分析し、1年分の情報を集約したものです。

本書では、粗利規模がDK-SIS集計上初めて4兆円を割ってしまったことを大きく取り上げました。この背景としては、昨年から続くパチンコの業績低迷が止まらず、パチスロが完全に復調したものの、パチンコ分のマイナスを補いきれない図式となっている点を詳細に

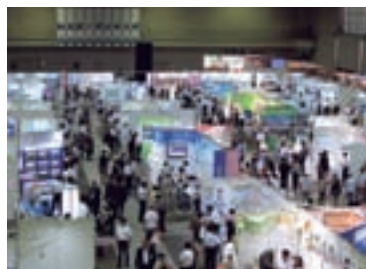
解説しております。

こうした事実の提示に加えて、今後の業績回復への課題として、「時間粗利の見直し」、「自店の花形(育成機)比率の底上げ」、「遊技機利益の可視化」等を挙げております。

パチンコホール経営企業の皆さまが、これからも市場の実態に最も近いDK-SISデータを引き続きご活用いただき、本書を企業経営の一助としていただくことを願っております。

本書のご購入を希望される方は、当社DK-SIS室にご連絡くださいますようお願いいたします。
価格 ● 20,000円(税込) 電話(052)581-7660

名証IRエキスポ2011



平成23年7月15日(金)・16日(土)の両日、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)にて行われました名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2011」にブース出展いたしました。当社は今回で連続8回目の出展となりますが、今年も当イベントは盛況で、2日間で6,700名もの来場者がありました。

当社ブースではミニ説明会を両日で10回開催し、300名を超える皆さまに当社の事業内容やパチンコ業界の現状、当社の決算の状況等に

ついでの説明をさせていただきました。株主や個人投資家の皆さまからのご質問等も数多く頂戴し、コミュニケーションをはかる場として大変有意義な出展となりました。当日は貴重なご意見、ご協力ありがとうございました。

今後も継続してIR活動を行い、当社の知名度・認知度向上のために努力してまいります。

New Product ●新製品情報

快適空間と電力抑制を両立する「ホール環境監視サービス」

ホール環境監視サービスはデマンド監視によるピーク電力を抑制することに加え、使用電力を空調・照明・島電源など系統別に測定しグラフを用いた見える化により、電力の無駄を発見し、電気使用量の削減を支援するサービスです。

パチンコホール内に温湿度センサーを設置し、ホールスタッフの体感温度や空調の設定温度ではなく、実温度管理をすることで電力消費を抑えつつファンにとって快適な空間を提供します。最適な空調調整を行うことは、ファンの快適性を保つだけでなく、節電にもつながります。

節電にとって重要な「意識付け」と「意識継続」を電気使用量見える化で実現し、ホールの節電に対する意識の向上と継続を支援してまいります。



ホールコンピュータによる自動ECO運転「オートメーションECO」

近年、ECOに対する関心が高まるなか、東日本大震災の影響もあり、より一層省エネに対する意識が向上しています。このような状況を踏まえ、ECOを支援するサービスとして「オートメーションECO」の販売を開始しました。

オートメーションECOは、情報公開機器などの当社製品を自動的に最適化することで、ホールの節電対策に役立ちます。ホールコンピュータとの連動により、ホールスタッフの手を煩わせない「自動ECO運転」が最大の特長です。

代表的な機能は次の3つです。

1. 開閉店前後の自動ECO運転
2. 指定時間・稼動状況による自動ECO運転
3. ホール環境監視サービス連動の自動ECO運転

今後の製品はECOを標準対応とし、ホールの省エネ活動を支援してまいります。

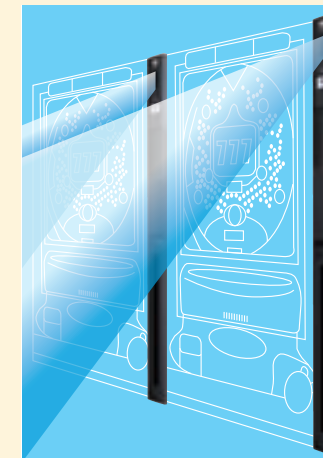


ナノイー搭載台間ユニット「アクリシア」

アクリシアはパナソニック電工(株)が開発した「ナノイー」を搭載した台間ユニットです。

「ナノイー」技術によりホール内の二オイやアレル物質、カビ菌等を抑制し、ファンが快適に遊技できる空間を創ります。

また、アクリシアには「顔認証カメラ」を搭載しており(オプション)、ホールコンピュータCと連動し、今まで分からなかったファンの遊技プロセスを可視化することで、今までにないデータ分析の手法として提案していきます。



※画像はイメージです

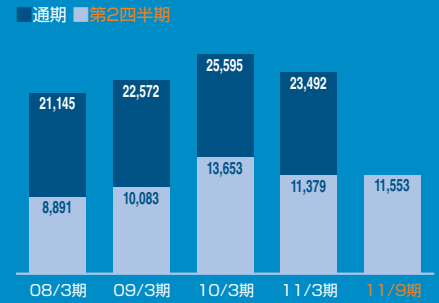
売上比率
41.1%

情報システム事業

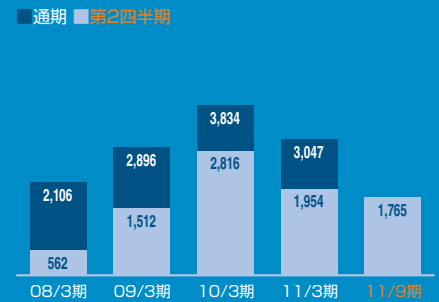
当事業の第2四半期連結累計期間は、MIRAGATEネットワークを活用したホール支援サービス「CⅡスタンダード」の拡大を推進し、パチンコ遊技機からパチスロ遊技機への入替の拡大にあわせ情報公開機器「BiGMO」の導入をはかることで、ホールコンピューティングシステム「CⅡ」の導入にも繋がりました。

この結果、当事業の売上高は115億53百万円(前年同期比1.5%増)、セグメント利益は17億65百万円(同9.7%減)となりました。

■ 情報システム事業売上高



■ 情報システム事業利益



台毎データ表示機「BiGMO」

今までの呼出ランプの概念を変える台毎データ表示機「BiGMO」。業界最大10.4インチ液晶で、ホール内のイメージを大きく変えるだけでなく、状況に応じてファンが見たいデータを、「どデカ表現」でわかりやすく伝え、遊技しているファンの、ドキドキ感、ワクワク感を盛りたてます。

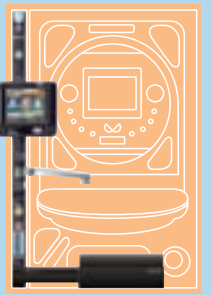
さらには、業界初AC(遊びコミュニケーション)機能を搭載し、「データニュース」や「パチンコ講座」など多彩な情報をファンに直接語りかけます。



ファン向け台毎端末「楽passⅡ」

ファン向け台毎端末「楽passⅡ」は、わかりやすさと、ファンが安心して遊技できることに徹底的にこだわりました。

- リアルタイムに正確な持ち玉数を表示することで、ファンは臨場感を楽しむことができます。
- 操作も非常にシンプル。誰でも簡単に遊技を楽しむことができます。
- 持ち込み玉等の不正もリアルタイムに検知します。

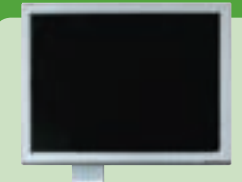


売上比率
57.0%

制御システム事業

当事業の第2四半期連結累計期間は、パチンコ遊技機市場は、震災による半導体供給への影響もあり販売台数が減少いたしました。当事業は機種の評価が高く販売台数が増加しました。また、下半期に予定していました機種が第2四半期の販売となったこともあり、好調な業績となりました。

この結果、当事業の売上高は160億16百万円(前年同期比270.9%増)、セグメント利益は14億35百万円(前年同期セグメント損失4億88百万円)となりました。



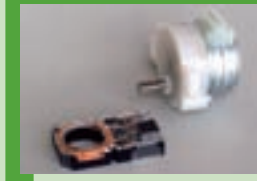
制御ユニット

基本動作をつかさどるハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。



表示ユニット

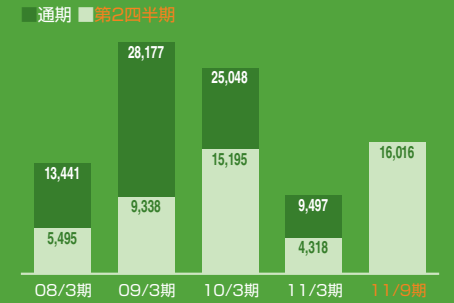
パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。



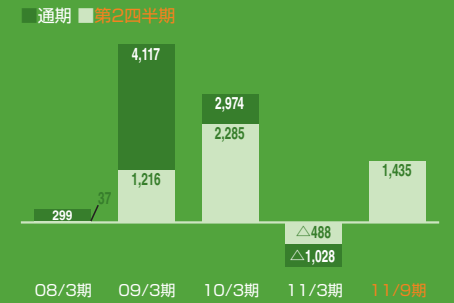
商品(部品)

パチンコ遊技機に使用される液晶パネル、スイッチ、モーター等のオートメーションパーツの仕入販売をしております。

■ 制御システム事業売上高



■ 制御システム事業利益又は損失(△)



売上比率
1.9%

アミューズメントコンテンツ事業

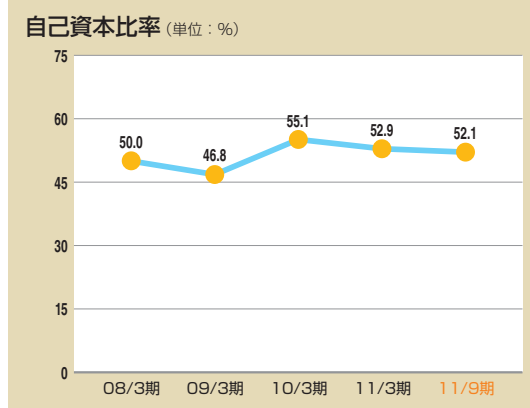
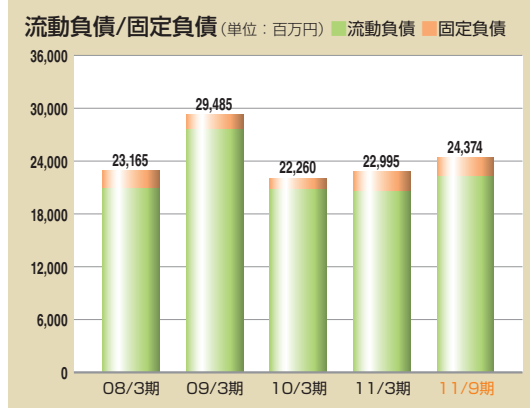
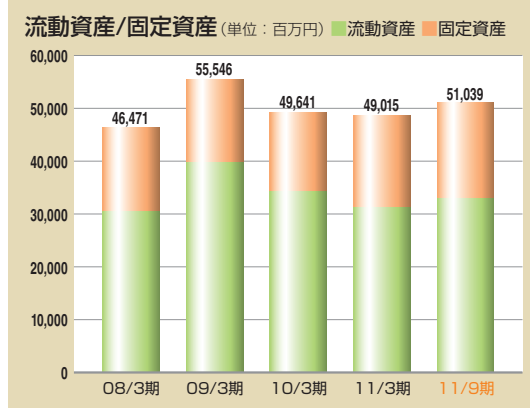
当事業の第2四半期連結累計期間は、コンシューマゲームにおいて、前連結会計年度に受託した大型案件を中心に開発を行いました。

この結果、当事業の売上高は5億36百万円(前年同期比34.2%減)、セグメント損失は1億10百万円(前年同期セグメント利益41百万円)となりました。

第2四半期連結貸借対照表(要旨)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2011年9月30日現在	前第2四半期 連結会計期間末 2010年9月30日現在	前期 2011年3月31日現在
資産の部			
流動資産	32,963	29,088	31,549
固定資産	18,075	15,960	17,466
有形固定資産	10,407	9,128	9,821
無形固定資産	1,732	1,627	1,884
投資その他の資産	5,935	5,205	5,760
資産合計	51,039	45,049	49,015
負債の部			
流動負債	22,234	17,056	20,723
固定負債	2,139	1,264	2,271
負債合計	24,374	18,321	22,995
純資産の部			
株主資本	26,582	26,680	25,949
資本金	674	674	674
資本剰余金	680	680	680
利益剰余金	25,229	25,327	24,596
自己株式	△0	△0	△0
その他の包括利益累計額	4	4	4
少数株主持分	78	43	66
純資産合計	26,665	26,727	26,020
負債純資産合計	51,039	45,049	49,015

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)



第2四半期連結損益計算書(要旨)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	28,100	16,510	34,483
売上原価	18,988	10,698	23,246
売上総利益	9,112	5,812	11,236
延払販売未実現利益戻入	0	7	15
延払販売未実現利益控除	-	-	5
差引売上総利益	9,113	5,819	11,246
販売費及び一般管理費	6,995	5,207	11,020
営業利益	2,118	612	226
営業外収益	100	121	243
営業外費用	151	51	114
経常利益	2,067	682	356
特別利益	1	6	18
特別損失	81	52	162
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,987	635	212
法人税、住民税及び事業税	1,040	593	1,309
法人税等調整額	△141	△192	△772
少数株主損益調整前四半期純利益又は当期純損失(△)	1,088	234	△324
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11	△6	17
四半期純利益又は当期純損失(△)	1,076	241	△342

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

売上高
情報システム事業においては、前年同期と比べ若干の増加となりましたが、制御システム事業においては前連結会計年度及び当第3四半期連結会計期間に販売予定の製品等が実現したことにより増収となりました。

営業利益
販売費及び一般管理費は前年同期に比べ17億87百万円増加しておりますが、それは主に研究開発費の増加によるものです。売上高営業利益率は増収増益により3.8ポイント上昇の7.5%となりました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,322	△1,206	△2,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,052	681	△1,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245	△1,186	465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△3	△3
現金及び現金同等物の減少額(△)	△3,977	△1,714	△3,346
現金及び現金同等物の期首残高	13,080	16,426	16,426
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	9,102	14,712	13,080

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

営業活動によるキャッシュ・フロー
前年同期に比べ主に税金等調整前四半期純利益や仕入債務の増加及びたな卸資産や法人税等の支払が減少したことにより得られた資金は増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー
前年同期に比べ定期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出が大きかったことにより、使用した資金は増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フロー
前年同期に比べ借入による収入や配当金の支払額が減少したことにより、使用した資金は減少しました。

会社概要 (2011年9月30日現在)

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.

創業 1964年12月

設立 1973年7月

資本金 6億7千4百万円
(発行済株式総数14,783,900株)

本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

従業員数 (単独)436名 (連結)684名

事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売

役員

代表取締役社長 栢森雅勝 取締役 根本弘
代表取締役副社長 栢森秀行 取締役 吉川幸治
代表取締役専務 栢森健 取締役 國保徳丸
常務取締役 岩根節雄 取締役 足立芳寛
取締役 橋本忠巳 常勤監査役 伊東幹夫
取締役 丹羽時重 監査役 村橋泰志
取締役 室町雅紀 監査役 田島和憲

(注) 1. 取締役 國保徳丸氏、足立芳寛氏は社外取締役であります。
2. 監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏は社外監査役であります。

事業所一覧

本社	〒450-8640 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号 TEL(052)581-7111(代表)	春日井事業所	〒480-0304 愛知県春日井市神屋町1番26 TEL(0568)88-7771
坂下事業所	〒480-0395 愛知県春日井市坂下町1丁目875	TOKYO デザインスタジオ	〒164-8271 東京都中野区本町一丁目32番2号 ハーモニータワー
高蔵寺事業所	〒487-0014 愛知県春日井市高蔵寺町二丁目153番地 TEL(0568)51-7111		

拠点一覧

東日本支店	〒110-0015 東京都台東区東上野四丁目8番1号 TIX TOWER UENO	中部支店	〒480-0395 愛知県春日井市坂下町1丁目875
札幌営業所	〒001-0011 札幌市北区北十一条西四丁目2番25号 ベルエアプラザ	松本営業所	〒390-0852 長野県松本市大字島立399番地1 滴水ビル
盛岡営業所	〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 マリオス	金沢営業所	〒920-0025 石川県金沢市駅西本町一丁目5番12号
仙台営業所	〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目2番3号 鹿島広業ビル	西日本支店	〒532-0003 大阪市淀川区宮原四丁目1番14号 住友生命新大阪ビル
新潟営業所	〒950-0925 新潟市中央区弁天橋通1丁目2番39号 VMビルディング	岡山営業所	〒700-0927 岡山市北区西古松一丁目1番26号 オム第IIビル
茨城営業所	〒305-0032 つくば市竹園二丁目2番地4 第2・ISSEIビル	高松営業所	〒761-8071 香川県高松市伏石町2130番地1 丸忠IIIビル
北関東営業所	〒330-6022 さいたま市中央区新都心11番地2 明治安田生命さいたま新都心L.A.タワー	広島営業所	〒730-0004 広島市中区東白島町14番15号 NTTクレド白島ビル
		九州支店	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南二丁目1番9号 ヤマエ博多駅南ビル
		宮崎営業所	〒880-0801 宮崎県宮崎市老松一丁目3番3号 松屋ビル

関係会社

連結子会社 ●DIXEO株式会社、元気株式会社、元気モバイル株式会社、DAXEL株式会社、DO株式会社
関連会社 ●株式会社ラビス

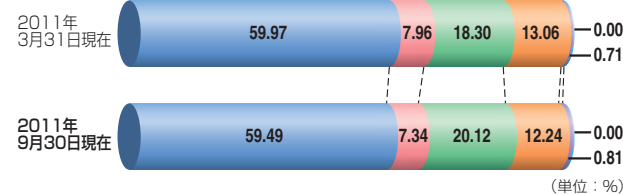
株式情報 (2011年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数.....66,747,000株
発行済株式総数.....14,783,900株
株主数.....4,337名

所有者別株式分布状況

	2011年9月30日現在		2011年3月31日現在	
	株数	名数	株数	名数
●個人・その他	8,795,085株	4,143名	8,866,240株	4,031名
●金融機関	1,085,200株	25名	1,175,700株	26名
●その他国内法人	2,974,000株	65名	2,705,900株	65名
●外国人	1,809,310株	71名	1,930,710株	81名
●証券会社	119,990株	32名	105,035株	28名
●自己名義株式	315株	1名	315株	1名
合計	14,783,900株	4,337名	14,783,900株	4,232名



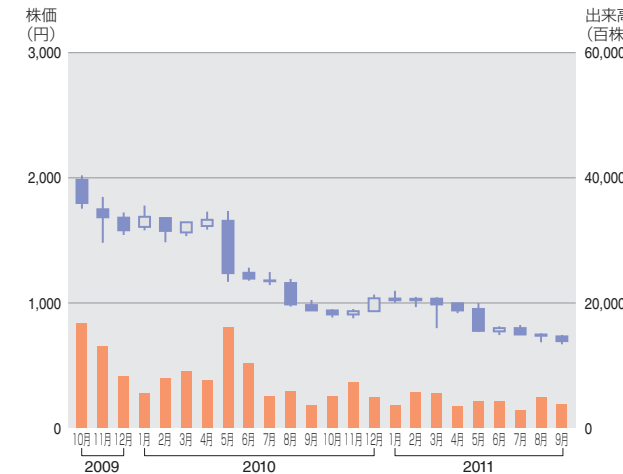
持株数別株式分布状況

	2011年9月30日現在		2011年3月31日現在	
	株数	名数	株数	名数
1単元未満	1,270株	144名	1,113株	136名
1単元以上5単元未満	447,339株	2,601名	439,356株	2,585名
5単元以上10単元未満	322,837株	542名	299,180株	506名
10単元以上50単元未満	1,450,510株	855名	1,412,247株	825名
50単元以上100単元未満	511,817株	78名	441,832株	66名
100単元以上500単元未満	1,700,092株	89名	1,735,393株	87名
500単元以上1,000単元未満	549,570株	9名	491,800株	7名
1,000単元以上5,000単元未満	2,816,650株	10名	3,038,464株	11名
5,000単元以上	6,983,500株	8名	6,924,200株	8名
自己名義株式	315株	1名	315株	1名
合計	14,783,900株	4,337名	14,783,900株	4,232名

大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
栢森 健	1,772,200	11.98
栢森 雅勝	1,586,250	10.72
栢森 寿恵	1,108,950	7.50
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 秀行	739,100	4.99
栢森 新治	737,150	4.98
栢森 美智子	626,000	4.23
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー	507,300	3.43
栢森 啓	420,000	2.84
メロン バンク トリーティー クライアーツ オムコバ	346,600	2.34
ダイコク電機従業員持株会	341,300	2.30
栢森 和代	311,000	2.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	206,700	1.39
株式会社みずほ銀行	150,000	1.01
ノーザン トラスト カンパニー エイブイアール フィテリティ ファズ	128,700	0.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	110,500	0.74
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505224	87,700	0.59
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	66,700	0.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	62,700	0.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	62,300	0.42

株価及び出来高の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店ならびに日本証券代 行株式会社の本店及び全国各支店で行 っております。
公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない 事由によって電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	http://www.daikoku.co.jp/

✉ IR情報メール配信サービス

当社は、投資家の皆さまに対して電子メールによるIR情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた方々に当社ホームページ(<http://www.daikoku.co.jp>)に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。

ご希望の株主さまは、当社ホームページの「IRメール配信(<http://www.daikoku.co.jp/irmail/>)」から、簡単にご登録(無料)いただけます。



〒450-8640 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

TEL(052)581-7111(代表)

ホームページ <http://www.daikoku.co.jp>

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましては、平成22年より配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
*確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株主さまのご住所・お名前に関する文字についてのご案内

株券電子化実施にともない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。

